

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名 地域高規格道路 佐賀唐津道路 一般国道203号 多久佐賀道路（I期）	事業 一般国道 区分	事業 国土交通省 主体 九州地方整備局
起終点 自：佐賀県多久市東多久町大字別府 至：佐賀県小城市三日月町長神田	延長 5.3km	
事業概要 多久佐賀道路（I期）は、佐賀唐津道路の一部区間として計画された路線であり、生活圏の拡大や地域間の交流に大きく寄与するとともに、当該地域の主要幹線道路である国道203号の渋滞解消等を図る延長約5kmの自動車専用道路である。		
H15年度着工準備	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 年度用地着手
H 年度工事着手		
全体事業費	280億円	事業進捗率
計画交通量	34,600～34,900 台/日	1%
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 3.4 (残事業) 3.5	供用済延長 0km 総費用 (残事業)/ (事業全体) 197/202億円 (事業費: 180/185億円) (維持管理費: 17/17億円)
総便益	(残事業)/ (事業全体) 693/693億円 (走行時間短縮便益: 605/605億円) (走行費用減少便益: 47/47億円) (交通事故減少便益: 42/42億円)	基準年 平成19年
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動 : B/C=3.9 (交通量+10%) B/C=3.2 (交通量-10%) 事業費変動 : B/C=3.2 (事業費+10%) B/C=3.9 (事業費-10%) 事業期間変動 : B/C=2.9 (事業期間+20%) B/C=4.3 (事業期間-20%)		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道の渋滞損失時間の削減が見込まれる） ・安全で安心できる暮らしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） ・地球環境の保全（CO2排出削減量：1,466t-CO2/年）		
		他8項目に該当
関係する地方公共団体等の意見 多久佐賀道路（I期）は、地域間の交流連携の強化等に重要な役割を果たすことが期待されており、小城市をはじめとする関係3市7団体で構成される国道203号バイパス多久・佐賀間整備促進期成会等により早期整備の要望（平成19年10月24日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・佐賀市に隣接する小城市の人口が増加傾向にあり、佐賀市のベッドタウンとして進展しつつある。 ・沿線地域である多久市、小城市における自動車保有台数は増加傾向にあり、自動車依存が高まっている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率は事業費ベースで1%である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後は、都市計画決定に向けて環境影響評価等事業に必要な手続きを進め、事業着手後概ね10年を目途に全線2車線暫定供用を目指し進めていく。		
施設の構造や工法の変更等 事業実施にあたっては、新技術・新工法の積極的活用、建設副産物対策により、着実なコスト削減を図ることとしている。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。